



本日はよくお参り下さいました

朝晩の冷え込みも一段と強くなりましたが、皆さまいかがお過ごしですか。11月25日には新嘗祭を氏子会役員一同参列のもと行いました。さて、皆さんは今年一年を振り返ってみて、どんな一年だったでしょうか。日々起きるさまざまな出来事や事件に心が乱されることもあると思いますが、心豊かに平穏に過ごせていますか。どんな逆境の中でも、自分の心は自分のものです。内面の調子を整えることは自分にしかできません。何かと忙しい毎日かと思いますが、自分自身をいたわることを一度立ち止まって考えてみませんか。このひと月を充電期間にして、また新たな一年を踏み出したいものですね。

今年も一年ありがとうございました。よいお年をお迎え下さい。権禰宜 道子

次号の「てんじんさま」は2月1日発行となります。(1月号はお休みです。)



12月



1日・15日 月次祭 (つきなみさい)
皇室の弥栄と国家安泰、氏子崇敬者並に社会の幸福と平和を祈ります。

5日 酉の市 (酉の祭・とりのまち) 大鳥神社のおふだをおわかしする日です。久里浜天神社は毎年12月5日に行います。(いつかなあ?と思ったら5日です。) 当日ご祈禱をしたおふだ付きのカッコメという熊手を頒布いたします。(初穂料1000円)、また今年届いた神宮大麻を含む新しい神棚用のおふだ一式(初穂料3000円)の授与も始まります。たくさんのお店も並びますのでどうぞお楽しみに。(夜9時頃まで)

7日 大雪 (たいせつ)
もう山の峰は積雪に覆われているので大雪という。いよいよ冬將軍の到来が感じられる。



22日 冬至 (とうじ) この頃を境にして本格的な冬の訪れになることが多い。参考 こよみ読み解き事典

23日 天皇誕生日 日本国の象徴であり、日本国民統合の象徴である天皇陛下のお誕生日をお祝いする日。

天神さまの豆知識

―正月と神道―

一般に広く伝承されている、民間のいろいろな行事には神さまに関わるものが多くあり、そういった行事を民間祭祀みんかんさいしといっています。お正月もその一つです。もともと正月は年の始めに神の来臨を仰いで、その年の実りの豊かなことを祈る行事です。正月を迎えるにあたって新しい神札を祀り、門松を立てて、玄關にはしめ縄を張って、神さまを迎えます。鏡餅を飾るのは、神さまへのお供えのためです。元旦の朝、一家揃ってお屠蘇とそで祝い、お雑煮を食べるのは、神さまにお供えしたお下がりをいただく気持ちからきています。ここから、心を一新して、今年こそはと気をひきしめるのです。参考文献 阿部正路著『改訂版神道がよくわかる本』 P.H.P.研究所発行



今月の言葉

『新しき年の始めに、や、かくしこそ

仕えまつらめ、や、万代までに』

(作者未詳「催馬楽」より)

「催馬楽さいばら」とは、平安時代の宮中の儀礼の歌を集めたものです。新しい年の始めに、万世よろずよに神さまにお仕えしよう」と詠っています。なぜ毎年、永遠に仕えることを新たに決意するのか。神さまに仕えるとは、正直な心を持って、人々のために生きることです。心とは目に見えず、移ろいやすいもの。だからこそ、毎年新たな心を誓うのですね。



参考文献『神道のことば』竹光 誠監修

平成二十六年六月十五日河出書房新社発行